

注意

火災が多発しています

春先から5月頃にかけては、空気が乾燥し、強い風が吹く日が多くなることから、火災が発生しやすい時期となります。

また、この時期は農作業や庭の手入れに伴う枯草焼きやたき火、レジャーとしてのバーベキューなど、屋外で火を取扱う機会が増えるほか、進学や就職などによる新生活が始まり、慣れない環境で火気を使用する機会も多くなる時期です。このため、火の取扱いにはこれまで以上に注意することが大切です。

火災を防ぐため、次のことに注意してください。

たき火・野焼きからの火災に注意

乾燥して風の強い日は、焼却を行わない。

また、焼却する際は必ずその場で監視を続け、やむを得ずその場を離れる場合は、一旦消火する。

水を入れたバケツなどの消火用具を準備する。

なお、廃棄のための焼却行為は原則禁止です。



火の元確認の徹底

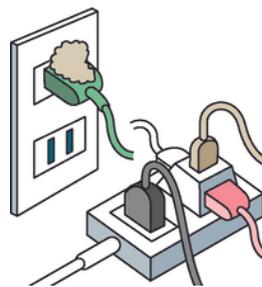
外出前や就寝前には、電気器具やガスコンロなどの電源や火の消し忘れがないか必ず確認する。



電気配線やコンセントからの火災に注意

コードを束ねたまま使用することや、たこ足配線に注意し、傷んだ電気コードは使用しない。

また、コンセントプラグにほこりなどが付着すると発熱し火災の原因となるおそれがあるため、定期的に清掃する。



台所での火災防止

調理中はその場を離れず、周囲にタオルなどの燃えやすい物を置かない。

また、グリル庫内などは油汚れがたまりやすいため、定期的に清掃する。



住宅用火災警報器の点検

電池切れや故障がないか定期的に確認する。

また、未設置の場合は早めに設置する。



お問合せ

嶺北消防本部予防課

☎ : 0776-51-8435

✉ : yobou@reihoku-fd.jp